

きらRe:!

輝くまち みんなの知立

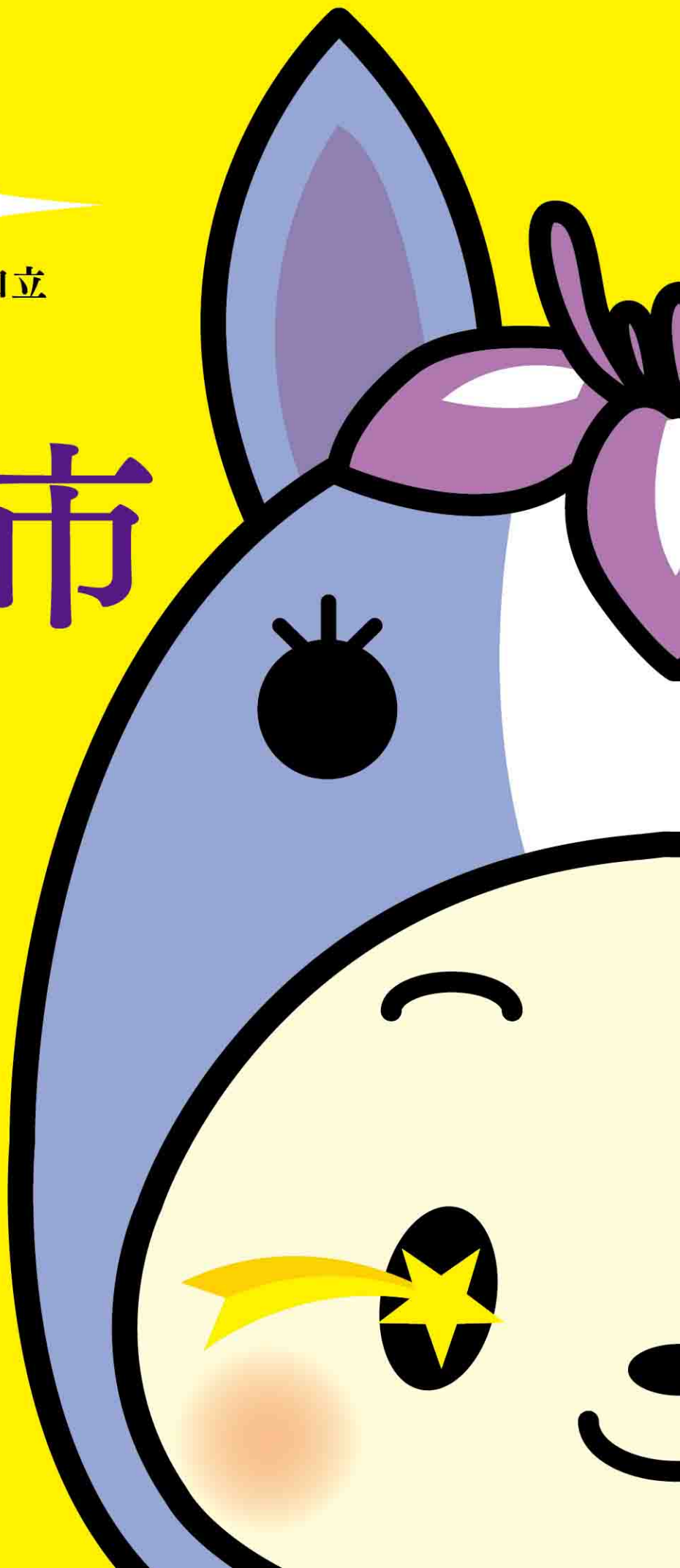
知立市

ち り ゅ う

Chiryu City Promotion Book

市制施行 55 周年

市勢要覧 2025



ABOUT CHIRYU 知立市



知立市
マスコットキャラクター
ちりゅっぴ
Chiryuppi



面積：16.31km²

知立市の位置

■市役所の所在地
愛知県知立市広見三丁目1番地

■市役所の位置
東経：137° 03' 02"
北緯：35° 00' 05"
※緯度・経度：世界測地系
(日本測地系)



●お誕生日は？	12月1日	●性別は？	男の子
●好きな食べ物は？	あんまき	●1人称は？	ぼく
●語尾は？	①動詞＋っぴ ②だっぴ		

ちりゅっぴは知立市が大好きな男の子。かきつばたの飾りをつけた馬パーカーを着て、かつてたくさんの旅人が旅した鎌倉街道や馬市のあった東海道の歴史を伝えます。ベストには市章の刺繍がほどこしてあり、あんまきポーチには知立市の魅力がたくさん詰まっています。心優しいのんびりやです。
2017年に開催されたゆるキャラ®グランプリにおいて、準グランプリ(全国2位)を獲得しました。

ごあいさつ



知立市は、江戸時代には東海道五十三次の39番目の宿場町「池鯉鮒」として多くの人が行き交い、古くから交通の要衝として栄えてきたまちです。昭和45年12月1日に碧海郡知立町から知立市となり、歴史・文化、地域の皆さんとともに発展を遂げ、令和7年に市制55周年を迎えました。

本市は現在、令和7年からスタートしました「第7次知立市総合計画」において、「輝くまち みんなの知立 にぎわう・つながる自分らしさをかなえるまち」を将来像の目標としてまちづくりを推進しております。この目標には、『100年に一度のまちづくり』として進めている、本市誕生以来最大のプロジェクト知立駅周辺整備事業を起点としたまちの発展とあわせて、市民同士がつながり一緒にまちを育てながら、さらには自分らしいライフスタイルを実現できる、そのようなまちづくりに取り組んでいきたいという想いを込めています。

また、本市は令和3年に内閣府より「SDGs 未来都市」に選定されました。市民の皆さん一人ひとりの多様な価値観を認めあい、全ての人が孤立することなく社会参加できる誰一人取り残さない持続可能なまちづくりに向けた「多文化共生の未来都市知立」の実現を目指しております。

市民の皆さんに5年後、10年後も知立市に住んでいてよかったと思っていただけるまちづくりを推進してまいりたいと存じますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

知立市長 石川 智子



石川 智子市長 ごあいさつ	01
まちのデータ	02
輝くまち みんなの知立	
●まちづくりの基本理念	03
知立で暮らす	05
●近隣アクセス	06
●駅前再開発	07
●人にやさしい安心なまちづくり	09
知立で育む	11
●安心して子育てできる	12
●子どもがイキイキ育つ環境	13
知立で繋がる	14
知立で感じる	15
●知立市イラストマップ	17
●知立市の文化・歴史・観光	19
知立の特産品・市役所庁舎の 陶壁をご存知ですか？	21
知立市クラウドファンディング・ 姉妹都市・友好都市	22
知立市がSDGs未来都市に 選定されました！	23
Topics・知立市の最新情報	24
知立市55年のあゆみ	25



市の花／かきつばた
Iris laevis

伊勢物語の中で在原業平が三河八橋においてめでたゆかりの花。昭和48年8月、市民からの公募によって決められました。



市の木／けやき
Zelkova serrata

高々とそびえる雄々しさからは、他の樹木を圧倒する気迫を感じることができ、知立市の発展を象徴するものとして昭和48年8月、市民からの公募によって決められました。



市章
City emblem

昭和32年10月、愛知教育大学教授大野元三氏の考案によるもので、古くから交通の要衝として東西南北に通じた知立市の発展的な土地柄をテーマに、伊勢物語で有名なかきつばたの花を図案化したものです。

輝くまち みんなの知立

知立市まちづくり基本条例第3条には、まちづくりの基本理念として左記の5点を定めています。
本市は、この基本理念に基づき、将来像「輝くまちみんなの知立にぎわう・つながる自分らしさをかなえるまち」をめざし、まちづくりを推進するものとしています。

まちづくりの 基本理念

Basic principles of town development



人と環境にやさしく、
健康で安心して暮らせるまちづくり



人々が集う交流の
まちづくり



芸術や文化を
大切にするまちづくり



互いの人権を尊重し、
思いやりの心を
育むまちづくり



次代を担う
子どもを豊かに
育むまちづくり



まちづくりの基本方針

将来像やこうありたい知立市の未来の実現に向けて、
取り組むことを、5つの基本方針として設定します。

- 方針1** ▶ 結婚・出産・子育て期に住み続けたいまちをつくる
- 方針2** ▶ 居住地として選択される新たな流れをつくる
- 方針3** ▶ 知立駅周辺の整備を契機に魅力的なまちをつくる
- 方針4** ▶ 市内に新たな雇用をつくる
- 方針5** ▶ 多様な市民が安心して暮らせる協働のまちをつくる

愛知県のほぼ中央部に位置し、主要国道、県道、名鉄本線、三河線が交差する交通の要衝都市です。名鉄名古屋駅まで快速特急で約20分、車では伊勢湾岸自動車道豊田南ICまで約15分の距離に位置しています。市の面積も約16平方キロメートルとコンパクトで、公共施設や買物等、どこへ行くにも近くて便利なまちです。

愛知の中心、知立は交通のアクセスが◎

近い！



知立市

約50分

約50分

約15分

約20分

約50分

約100分

中部国際空港

三河安城駅

新大阪駅

東京駅



きらRe!!
輝くまち

知立で暮らす

東西南北アクセス良好。交通の要衝都市



きらり輝くみんなが集う
交流のまちづくり

魅力的な住環境を備えることにより、住み続けた
い・住んでみたいまち、産業や地域資源の充実に
より、訪れたいまちとなることをめざします。そ
して、住民や来訪者がいつでも集い交流すること
により、人々がにぎわい輝きたし、市民一人ひと
りが活力のあるまちづくりをめざします。

住みたくなるまちづくり

道路・公園等の公共施設については、地域の実情にあわせた使い方を行政と地域がともに考え、一緒になって管理していける体制をめざします。

きらRe:!

生まれ変わるまち「知立」

古くから東海道の宿場町“池鯉鮒”として栄えてきた「知立」は、今でも複数の鉄道や主要道路が交わる三河の玄関口です。令和の知立は、鉄道高架化や区画整理、再開発によりどんどんリニューアルします！乞うご期待！

知立西新地地区市街地再開発

まちなか居住と新たな賑わい・交流の拠点

知立駅・駅前広場

乗り換えが便利で誰もが利用しやすい
新たな玄関口

堀切公園

公園と遊歩道、高架下空間を核とした
新たな生活と憩いの中心拠点

イメージパースは素案であり、
今後実施設計等により変更する可能性があります。

知立駅南土地地区画整理

更なる発展を求めて、駅南を活性化

鉄道高架化

踏切をなくし、まち全体の
ポテンシャルを向上

エキタス知立

まちなか居住と賑わいづくりの拠点

駅前公園

多くの人が集う憩いの空間創出

知立南北線

知立の「顔」となるシンボルロード

Renewal City “Chiryu”

誰もが地域の一員として生活できるまち

少子高齢化や世帯の小規模化が進行する中で、家族だけで介護や育児を行うことが困難になってきているとともに、生活様式の多様化などにより地域社会における「つながり」が薄れています。誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らし続けるためには、地域のつながりを深め、支え合い、助け合える地域をつくっていく必要があります。

高齢者福祉



高齢者サロン

少子高齢化が進む中で、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと過ごせるよう、身近な場所で定期的に集うことができる『高齢者サロン』が地域で開催されるようになりました。サロンによって内容や回数は様々ですが、お茶を飲みながらのおしゃべりや健康体操、ゲームなどを行い、閉じこもりや寝たきり・認知症の予防に取り組んでいます。

障がい者福祉

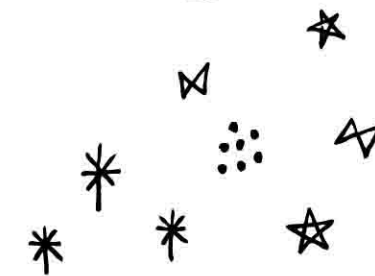


やるっぴ！まちかど運動教室

まちかど運動教室では、歩いて通える場所で週1回介護予防のストレッチや筋力アップ体操を行っています。講師は理学療法士が務めています。市と町内が一緒に開催し、地域交流も生まれ、身近な憩いの場になっています。

草の根フェスティバル

障がいのある人に対する市民の関心、理解を深めるとともに、障がいのある人の社会参加意識の高揚を図るため、毎年イベントを開催しています。障がいのある・なしに関わらず、みんなで楽しめるイベントとなっています。楽しく参加して笑って、みんなの心がぐっと近づく一日をお過ごしいただけます。



人にやさしい
安心なまちづくり



防災・危機管理

防災施策の内容

- ①平時における防災・減災対策の充実
- ②災害発生時の対応体制の整備
- ③地域防災力の強化
- ④危機管理対策の推進

健康で安心して暮らせるまちづくり
防災・防犯・交通安全等の施策やあらゆる緊急事態に備えた体制を整え、市民の安心・安全の確保に努めます。また、きめ細やかな福祉施策や保健・各種医療制度の充実、社会保障の適切な運用により、人にやさしく健康で暮らせるまちづくりを進めるとともに、環境配慮の施策により持続性のある地域づくりを行います。



地域防災力の強化

消防団では、常日頃より本業の傍ら、火災や水害等の各種災害から市民の生命・財産を守るべく、定期的な消火訓練、防災訓練、市内の巡回広報パトロール等の活動をしています。自分たちの街は自分たちで守るという郷土愛護の精神のもと、これからも地域の皆さんと一緒に、知立市の安心・安全を守っていきます。



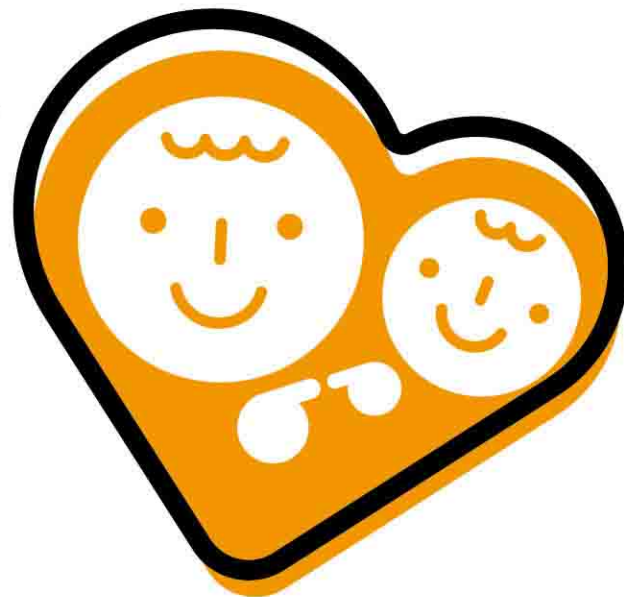
平時における防災・減災対策の充実

メール配信サービス「知立市すぐメール」や、住宅耐震にかかる一部補助など近年多発している自然災害や火災に備えた取組を行っています。また、総合学習での防災教育の実施や市の総合防災訓練へ市内の小中学生に参加いただくなど、若年層の防災意識向上を図っています。

名古屋市の自動車関連産業が盛んな西三河地域のベッドタウンとして発展してきた知立市は、人口減少社会の中においても、人口が増加傾向にあるまちです。若年層の転入率が高く、出生率（合計特殊出生率）も1.64と愛知県や全国の数値（県：1.44 国：1.33）を大きく上回っているため、住環境や子育て環境の向上に努めます。（厚生労働省：平成30年～令和4年人口動態保健所・市区町村別統計の概況より）

子育てしやすいまち

安心して 子育てできる



コーディネーターの役割

子育て中の保護者から、相談を受け、必要に応じ、母子保健サービスや子育て支援サービスにつなぎます。

母子保健コーディネーター

保健師または助産師の資格を持ち、主に妊娠期から子育て期までの相談を受けます。保健センターにいます。

子育て支援コーディネーター

保育士の資格を持ち、主に子育ての相談を受けます。子育て支援センターにいます。

妊娠中

妊娠中の心配ごとや出産の準備について相談できます

妊婦相談

母子保健コーディネーターが相談にのります

パパママクラス

支援センターの見学や育児について学べます

出産後

赤ちゃんの相談ができます

お誕生おめでとう電話

産後のお悩みに答えます

こんにちは赤ちゃん訪問

育児の困りごとの相談や予防接種などの案内をします

おっぱい相談

母乳育児の相談ができます

子どもの相談

子どもの月齢や年齢に応じた相談ができます

離乳食講習

離乳食のお話が聞け、相談ができます

育児相談

毎月、育児相談の日を設置
母乳の相談

歯科衛生士や栄養士への相談
支援センターでの相談ができます

産後ケア事業

産後少し休みたい、初めての育児で不安がある、育児をサポートしてほしいときなどに

通所ケア・宿泊ケア・訪問ケア

ママと赤ちゃんの体調に合わせて助産師のケアを受けられます

産後家事援助費助成

産後に一般的な家事をお手伝いする産後家事援助の費用助成を受けられます



にじいろニコニコ事業

妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない子育て支援に取り組んでいます。安心して赤ちゃんを育てられるように、子育ての不安や困りごとなどについて、いっしょに考えています。個々のニーズに応じた必要なサービスが円滑に利用できるようサポートしています。



高校生世代までの医療費助成

お子さんが病気やけがで医療機関にかかった場合の入院にかかった医療費の自己負担分（保険診療分）の全額を助成しています（0歳から高校生世代（18歳の年度末まで））。さらに、令和7年10月診療分からは、入院に加え通院にかかった医療費の助成対象も従来の中学生以下から高校生世代までへ拡大します。

きらRe!!
輝くまち

知立で育む

安心して子育てできるまちづくり



次代を担う子どもを 豊かに育むまちづくり

知立市を将来にわたり輝くまちにしていこうためには、子どもたちを豊かに育むことが不可欠です。子どもたちの活力は地域の活力につながります。このため、出産期、乳児期、幼児期、学童期、青少年期を通じ健康や子育てまたは教育などに対し、家庭・地域・学校と連携しながら取り組みます。



思いやりの心を育むまちづくり

地域には、考え方の違う多様な人々が生活しています。すべての人が不安なく生活できるように、誰もが思いやりと優しさを持てるまちづくりに取り組んでいます。



もやいこハウス

『知立市もやいこハウス』とは、昭和地区の知立団地商店街内にある「多文化共生センター」と「多目的交流センター」の総称です。『もやいこ』とは、三河地方の方言で『一緒に何かをする』という意味で、地域住民の活動交流の拠点として活用されています。



国際交流協会ゆかたパーティー

国際交流協会では、毎年ゆかたパーティーを開催しており、知立市近郊の企業研修生や留学生、市内在住の外国人と交流を図っています。外国人参加者には市民の皆さんから寄付していただいた浴衣を着付けしています。



知立市電子図書館

図書館にある紙の書籍以外にも、市民向けに電子書籍を読むことができる電子図書館があります。絵本や雑誌、外国語の本などもあり、いつでもどこでも読むことができるので、普段図書館に来ることが難しい人でも気軽にご利用いただけます。



みらい」(多文化子育てサロン)

外国人親子と日本人親子の交流及び相互理解を促進することにより、外国人親子の日本語能力の育成を図ることに加え、保護者が日本で不安や孤独を感じることなく楽しく安心して子育てできる拠点を創出し、子どもの健やかな成長を促すことを目的としています。



CHIRYUにほんご教室

日本語レベルに分けて日本語教室を実施しています。あわせて日本語教室に通う学習者が、自らキャリアデザインについて考え、それぞれの目標や志向性に応じた挑戦ができるようにするためのキャリア教育も実施しています。

私たち知立市民は
ち 知をたてて
り 理想をかかげ
ゆ ゆつくりと
う うるおいもどめ
し 生涯学ぶ
ことを決意し、ここに
「生涯学習都市」を
宣言する。



きらRe!!
輝くまち

多様な人々が集まる交流のまちづくり
知立で繋がる



生きがいふれあい発見
知立の生涯学習

知立市では、生涯学習に係る活動を実施する場を市内全域に提供し、市民一人ひとりが生涯学習に意欲を高め学習活動への参加を促し「生きがいふれあい発見知立の生涯学習」の理念に基づき、一層の生涯学習推進を図ることを目指しています。



子どもが
イキイキ育つ環境

子どもの学び環境・
学校教育
児童生徒一人ひとりを大切に、信頼される開かれた教育環境、安心して通える学校環境のもと、地域や家庭の教育力を活かした学びが展開されています。児童生徒の心身の健やかな成長と確かな学力の向上により、地域を愛する心と生きる力が育まれています。



放課後子ども教室

子どもたちの放課後の安全・安心な居場所づくりのため、全小学校に放課後子ども教室を設置しています。学校の教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動等の取組を行っています。



地域防犯ボランティアの活動

市内の小中学校では、児童生徒の安全確保のために防犯ボランティアが組織され、活動を行っています。登下校時に通学路で立ち番をし、児童生徒の安全な登下校を見守っています。また、事件が発生したときに学校からの連絡で立ち番、パトロール、下校引率等を行っています。



児童センター

自由に遊び、話し合い、多くの仲間とふれあう中で、自己をのび、楽しく過ごし、健康で情緒豊かな児童の健全育成を目的とした児童のための児童厚生施設です。知立市内には5箇所の児童センターがあります。



早期適応教室の設置

日本語教育が必要な児童生徒に対して、初期の日本語教育や小中学校への適応指導を行う早期適応教室を設置し、小中学校への早期の適応を図ります。



1人1台端末の活用

1人1台端末を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を進めています。例えば、授業支援のアプリケーションによって、全員の意見を瞬時に共有し、友達と自分の意見を比べたり結び付けたりしながら課題に取り組むことで、考えを広げ、深めることができます。



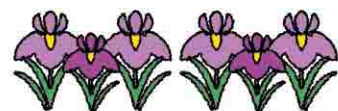
子どもサポート教員

市内の小中学校に子どもサポート教員を配置し、個に応じたきめ細やかな指導や教育的支援を行うことで、一人ひとりの教育的ニーズに応じた個性の伸長を図ります。



知立公園花しょうぶ園

知立公園の花しょうぶは、昭和31年・同32年・同35年の3回にわたって明治神宮から下賜されたもので、明治天皇並びに昭憲皇太后御遺愛の名品種が植えられています。毎年5月中旬から6月上旬まで花しょうぶまつりが開催され、全国から多くの観光客が訪れます。まつり期間中には「からくり人形実演」「茶会」「短歌大会」などのイベントが催されます。なお期間中は毎夜午後9時までライトアップしています。



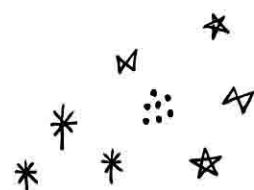
東海道松並木

山町から牛田町に至る約500mの間に松並木があります。江戸時代、東海道を行き交う多くの旅人がこの並木を通り、時には馬市も開かれていたようで、その様子は当時の浮世絵にも残されています。この松並木は令和5年8月に「知立の松並木」として、愛知県指定文化財（天然記念物）に指定されました。



野外彫刻プロムナード

「彫刻のある風景づくり」の一環として、平成12年から市内の公園や遊歩道、東海道松並木に彫刻を設置し、現在は22点の作品を常設展示しています。また、知立文化会館（パティオ池鯉鮒）前の6点の作品は、県内の芸術大学の協力のもと、毎年9月に入れ替えながら展示し、市民の皆さんに楽しんでいただいています。



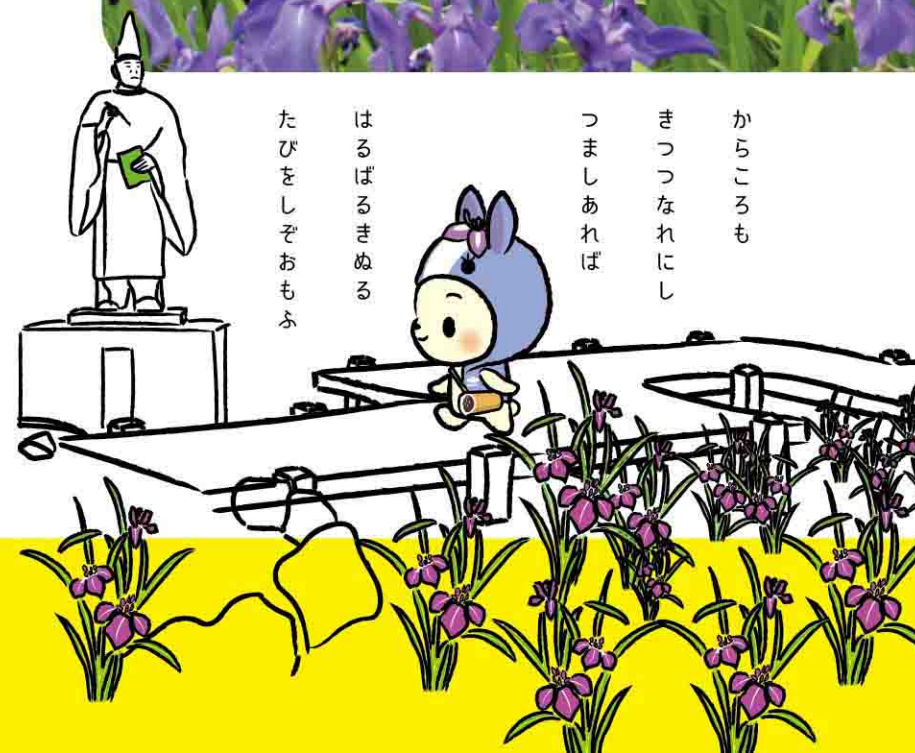
知立の歴史や文化、祭りを学び感じよう

知立で感じる



八橋かきつばた園

回遊式の庭園で、5月上旬には約3万本のかきつばたが咲きます。毎年4月下旬から5月中旬にはかきつばたまつりが開催され、期間中は茶会や短歌大会等の催しが開催されます。平安時代の歌人在原業平が、伊勢物語で句頭に「かきつばた」の5字をいれて歌を詠んだことで知られ、八橋のかきつばたは、文学や工芸品の題材としても親しまれています。



からころも

きつつなれにし

つましあれば

はるばるきぬる

たびをしぞおもふ



遍照院

およそ1200年前、弘法大師によって、生きとし生ける者すべての悲しみ、悩み、苦しみがともに語られ解決されるようにとの願いを込めて建てられたお寺と伝えられています。



赤目樫元弘法

遍照院は元々上重原家下の地にあったといわれており、延宝年中(1673年～81年)の間に現在の地に移ったと伝えられ、跡地は赤目樫元弘法として残されています。



多宝塔

知立神社の鳥居をくぐるとすぐ右に、三間二層、柿葺の一基の多宝塔が、西を向いてそびえ立っています。永正6年(1509年)に再建されたものとされ、神社最古の建物です。



知立神社

池鯉鮒大明神とも呼ばれ、歴史が古く、また高い神階を持つ名社です。境内に建てられている「多宝塔」は、国の重要文化財であり、舞楽面、能面等多くの県指定、市指定文化財があります。



来迎寺一里塚

一里塚は、江戸時代に街道の一里(約4km)ごとに道標として築かれたもので、約9m四方、高さ約4mに土を盛り上げ、道の両側に築かれています。塚上には主に榎が植えられていますが、当地の塚には松が植えられ、特に北塚が原形をよくとどめています。

知立市イラストMAP

魅力がいっぱいのまよ

知立市は、古くから交通の要衝として栄えてきました。中世の街道筋をはじめ、江戸時代には東海道沿いに池鯉鮒宿がおかれるなど歴史のある場所です。現在もその面影が残されており、歴史や文化が息づいています。



萬福寺のイブキ

県指定天然記念物。樹高16m、胸高囲3.12m、根廻り4mの大きなものです。主幹は縦列し、ねじりながら上方へ伸びています。



萬福寺

萬福寺の本堂・山門・鐘楼は、平成27年(2015年)11月17日に国の登録有形文化財に登録されました。本堂は明治32年(1899年)に完成し、規模の雄大さや意匠の華やかさが特徴です。



馬市の跡

江戸時代、4～5月の一時期に池鯉鮒宿の東の野で馬市が開かれていました。4～5百頭の馬が繋がれ、馬の値を決める所を「談合松」と言いました。



根上りの松

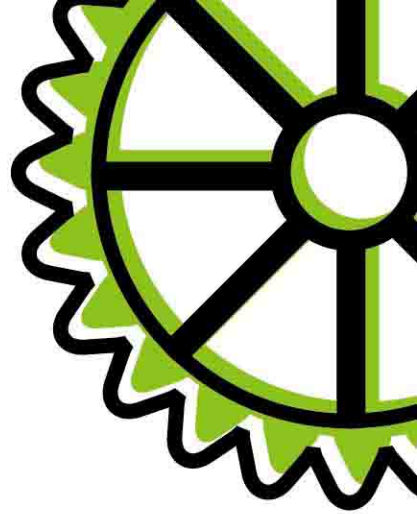
近世の東海道と区別して中世の東海道を鎌倉街道と呼ばれています。その街道のかたわらに立つこの松は、根が2m持ち上がっていることからその名がつけました。



牛田八幡社

江戸中期から明治後期に建立された類似の社殿において、建物群構成が他に類例がなく独創的であり、各社殿それぞれの建築的な質も高く、当地域を代表する神社建築であることから、本殿、覆殿、中殿及び袖廊、拝殿の四つの社殿が、令和6年(2024年)3月に国の登録有形文化財に登録されました。





知立市の 文化・歴史・観光



知立の
山車文楽とからくり
ユネスコ無形文化遺産

まちの人々が作る
知立まつり

知立神社の祭礼（知立まつり）は毎年5月2日、3日に行われ、本祭と間祭が交互に開催されます。本祭には豪華絢爛な5台の山車が、間祭には花飾りで彩られた5台の花車が奉納されます。また、本祭では山町・中新町・本町・宝町の4町の山車で文楽（人形浄瑠璃）が、西町の山車でからくり人形芝居が上演され、歴史ある伝統芸能を間近で感じることができます。浄瑠璃に合わせてからくり人形芝居が上演されることや、人形芝居が山車の上で上演されることは全国的にも珍しいです。平成28年12月1日（日本時間）、「知立の山車文楽とからくり」を含む33件が『山・鉾・屋台行事』としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。



江戸時代より約400年続く知立の伝統



知立の山車文楽

文楽は、一体の人形を三人で操る人形浄瑠璃芝居です。人形のかしらと右手を操る主遣い、人形の左手を操る左遣い、人形の足を操る足遣いの3人です。義太夫とよばれる語りと三味線にあわせて人形を操るもので、息の合った動きが求められます。



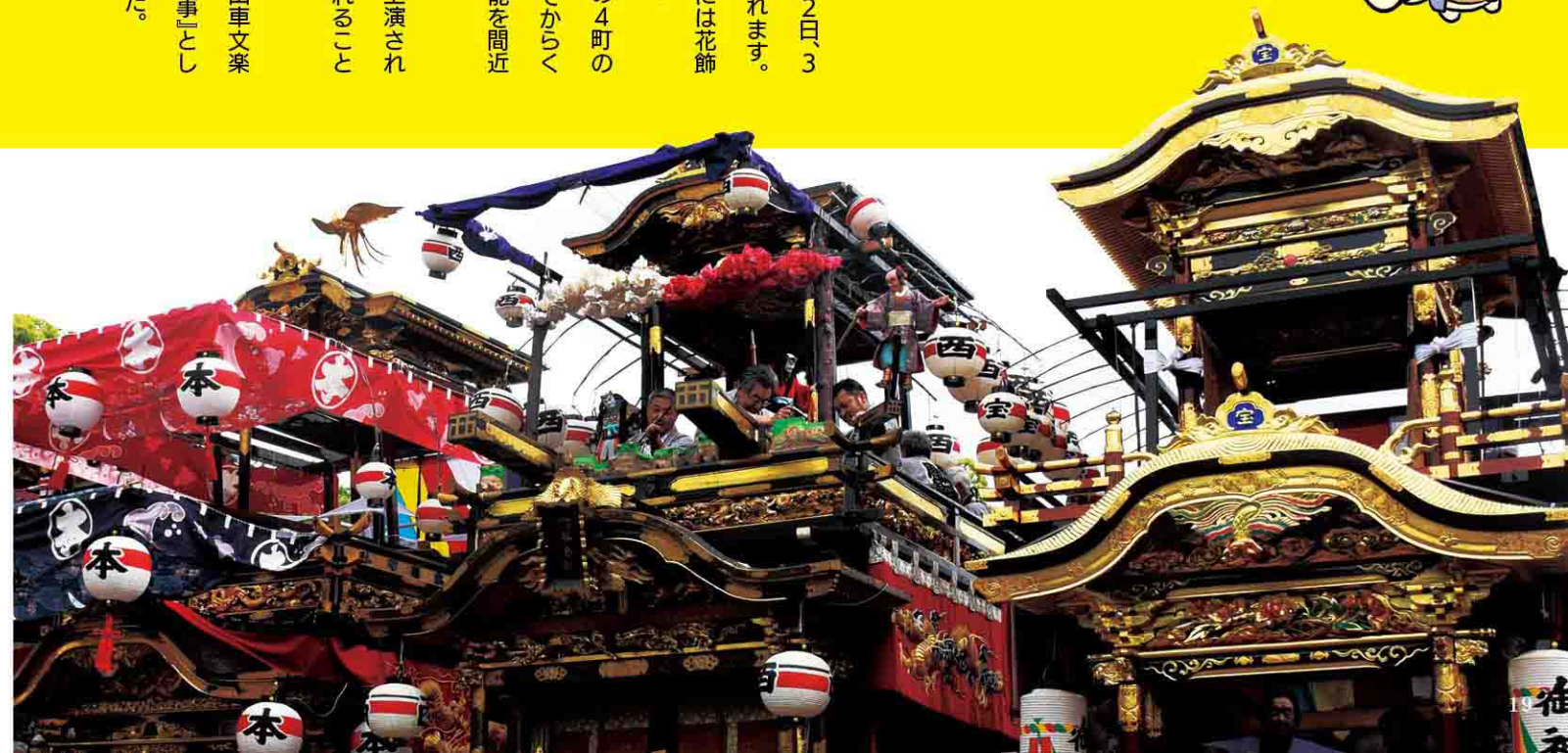
山車からくり

知立のからくりは専門家が作ったものではなく、町の旦那衆が道楽に考案したことが特徴です。材料も堅木は少なく、ありあわせの雑木を使用し、衣装も地元のありあわせの布を工夫しながら使ってきました。



秋葉まつり

昼間は市内6町（宝町・山町・山屋敷町・中新町・本町・西町）の若衆が玉箱をかつき、長持唄を歌いながら威勢よく各町内を練り歩きます。夕方になると知立神社に宮入りし勇壮な手筒花火を奉納します。炎の高さ7メートルを超える手筒花火を両手に持って団んで打ち上げるほか、1台200発という乱玉の打ち上げを6町が順番に行います。



＼ 皆さまからのご寄附等により次の事業が実現しました ＼



つながる高架プロジェクト

知立駅周辺の“100年に一度のまちづくり”を盛り上げ、高架の効果を未来へ繋げるため、移設した三河知立駅の開業を記念して、駅前広場にご寄附いただいた方のメッセージブロックを設置しました。



つながる遊び場プロジェクト

障がいのある子もない子と一緒に遊ぶことができる遊具（インクルーシブ遊具）を知立新地ドリームパーク（新地公園）に設置しました。



つながる桜プロジェクト

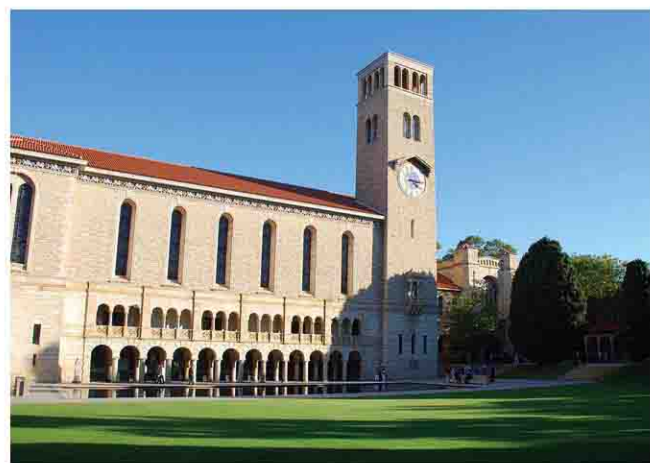
樹齢が50年を超えた知立中学校北側遊歩道の桜並木の“桜の風景”をこれから50年先につないでいくため、令和6年度から5年間かけて桜の植え替えを行っていくこととしました。

知立市 クラウドファンディング

税控除を受けることができる「ふるさと納税制度」を活用しつつ、具体的な事業の寄附を募集する制度です。市内在住の方も、寄附を行うことができ、税控除を受けることができます。

Sister City 姉妹都市

オーストラリア ウィンダム市 *Australia wyndham city*



知立市とウィンダム市は平成12年に姉妹都市提携を結びました。ウィンダム市は、オーストラリアの大都市メルボルンの郊外都市として、542km²の広大な市域のなかで、産業・住宅・農業がバランスよく発展しています。知立市からは市内の中学生がウィンダム市を訪れ、交流を図っています。

Friendship City 友好都市

長野県 伊那市 *Nagano ina city*

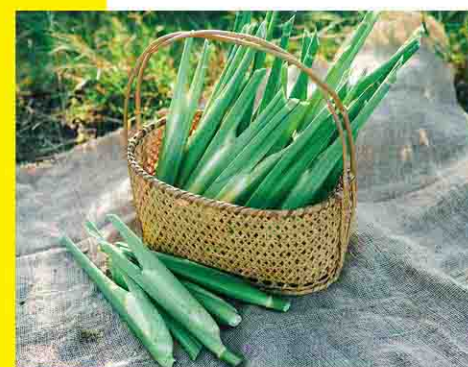


伊那市とは、知立市の野外センター建設をきっかけに交流がはじまりました。平成6年に友好都市提携を交わし、平成7年には災害時における相互応援協定を締結したほか、市民レベルでの交流や、市の花「かきつばた」の贈呈など様々な活動が行われています。



あんまき

明治20年頃に「あんまき」の原型が生まれたとされています。焼き菓子の中にあんを入れた素朴なお菓子は、当時と変わらず現在も大人気。現在では、カスタードやチーズ入り、てんぷらにしたものなども登場し、年配の方だけでなく、若い方や子どもにも、たくさんのおあんまきファンが存在します。



マコモダケ

イネ科の植物で、ほのかな甘みとクセのない味わいが特徴。タケノコをやさしくしたような食感で、食物繊維やカリウムを豊富に含む健康的な食材です。まぜごはんの素や、真菰の葉を活用した「まこも茶」といった加工品としても親しまれています。



お米

矢作川の水が育む三河平野に位置している本市を含む西三河地域では、「あいちのかおり」や「コシヒカリ」、「ミルキークイーン」の栽培を中心とした、豊かな水田農業が営まれています。

知立認定 ブランド特産品

知立の特産品や銘菓の商品が揃った「知立認定ブランド特産品」一覧は、市観光協会ホームページからご覧いただけます。



市役所庁舎の陶壁を ご存じですか？

市役所庁舎 正面玄関エントランスの壁一面にかきつばたの花が描かれた陶壁があるのをご存じですか？実はこの陶壁、市役所が現在の場所に移転した昭和53年（1978年）に、人間国宝（国指定重要無形文化財保持者）として知られる六代目幸兵衛窯の故・加藤卓男氏が作成した「逢花の譜」という作品なのです。市役所にお越しの際は、ぜひ作品をご覧ください。



加藤卓男氏 作 「逢花の譜」

知立の 特産品



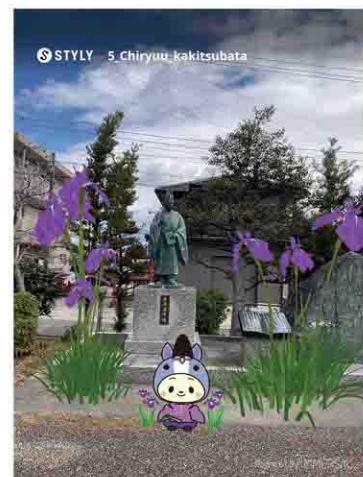
Topics!01

観光デジタルコンテンツ 知立市XRツアー「知立巡り」

最新技術を活用し、「知立の山車文楽とからくり」や「八橋のかきつばた」など知立市ならではのコンテンツを、専用アプリ等で自宅にしながら、各観光スポットを巡りながら、それぞれの方法で知立市を学び・楽しむことができます。



観光協会
ホームページ



旅マエ体験 /

自宅で楽しめる！

自宅などで、専用アプリ上でデジタルコンテンツ化された山車の360度VR映像を楽しむことができます。

旅ナカ体験 /

現地で楽しめる！

実際に市内9か所の観光スポットを巡り、指定されたマーカーに専用アプリのカメラをかざすとARの新感覚デジタルコンテンツを体験できます。

旅アト体験 /

旅の思い出に！

観光交流センターに設置されている「チームラボカメラ」で記念撮影！3種類の知立市オリジナルフレームで撮影した写真はその場でダウンロードできます。

Topics!02

歴史民俗資料館の ジオラマがリニューアル！

昭和62年の歴史民俗資料館開館以来はじめて改装されました。プロジェクションマッピングを導入し、知立の成り立ちや文化財などについてより分かりやすく学ぶことができるジオラマになりました。



知立市の最新情報

市ホームページや公式SNSで、暮らしに役立つ情報などを発信しています。



知立市
ホームページ



知立市LINE
公式アカウント



広報
ちりゅう



知立市がSDGs 未来都市に 選定されました！

知立市は、「多文化共生の未来都市知立」を目指して、日本人・外国人誰一人取り残さない持続可能なまちづくり」というタイトルの提案をし、令和3年5月21日、「SDGs未来都市」に選定されました！！

選定を受け、「知立市SDGs未来都市計画」を策定・公表し、SDGsの達成に向けて取組を進めています。本市は、人々が集い、賑わい、交流して発展してきた歴史を持ちます。その歴史に習い、日本人・外国人が互いを理解し合い、交流し助け合い、誰一人取り残さないで住み続けられる、「多文化共生の未来都市知立」の実現を目指していきます。



日本人・外国人が理解し合う 子育てしやすいまち

日本人と外国人の交流の創出

▶ 外国人が集住する昭和地区を中心として、日本語教育とともにキャリア教育を実施。

子育てしやすい環境整備

▶ 子育て世代の転出を抑制するため、日本人も外国人も安心して子育てできる環境を整備。

安心して子どもを預けられる学校環境整備

▶ 子育てサポート教員による、きめ細やかな指導。日本語が分からない外国人児童生徒に対して、学級に円滑に順応できるようなサポート体制を整備。

日本人・外国人共に仕事で活躍できる 賑わいあふれるグローバルシティ

雇用機会の創出

▶ 企業誘致及び創業支援を行うことで、日本人と外国人が共に仕事で活躍するための雇用機会を創出。

日本人・外国人が協働する クリーンなまち

ステークホルダーと連携した環境保全活動の実施

▶ 「食品ロス」を防ぐため、家庭で余っている食べ物を回収し、NPO法人等を通して福祉施設等に寄付を行うフードドライブを実施。

カーボンニュートラルに向けた取組の実施

▶ 施設照明のLED化及び空調の高効率化。刈谷知立みらい電力株式会社からの電気の購入、子どもたちへの環境教育の実施等。

主なSDGsの 普及啓発活動



SDGsシンポジウム・ イベントの開催

SDGsの普及啓発のため、タレントや歌手等のゲストを招き、知立市文化会館でテーマに沿った参加型のSDGsシンポジウム・イベントを開催しました。

知立市は令和4年2月に「2050年、ゼロカーボンシティ」を表明し、脱炭素社会（ゼロカーボン）の実現に向け取組を進めていくことを宣言しました。

CHIRYU TIME LINE

知立市 55 年のあゆみ



昭和

45 年	1970	知立市市制施行（県下 26 番目）
46 年	1971	知立市消防本部・消防署発足
47 年	1972	八橋配水場完成
48 年	1973	知立市総合計画策定 市の木「けやき」、市の花「かきつばた」制定
49 年	1974	知立西小学校開校 国道 155 号バイパス完成
51 年	1976	八ツ田小学校開校
52 年	1977	竜北中学校開校
53 年	1978	「知立市民の誓い」制定 庁舎新築移転、中央公民館開館
54 年	1979	知立南小学校開校 猿渡公民館開館 消防庁舎新築移転 知立文化広場開館
55 年	1980	第 2 次知立市総合計画策定
56 年	1981	衣浦東部広域行政圏協議会設立
57 年	1982	人口 5 万人達成 福祉体育館開館 知立南中学校開校
58 年	1983	国道 23 号知立バイパス開通
59 年	1984	第 3 次知立市総合計画策定 保健センター開館
60 年	1985	知立市行政改革大綱策定 市営駅前駐車場完成
61 年	1986	八橋史跡保存館開館 知立東高校開校 クリーンセンター完成
62 年	1987	ウォーターパレス KC 開設 図書館・歴史民俗資料館開館
63 年	1988	国道 23 号と知立バイパス西中インター接続



知立市市制施行



福祉体育館



図書館・歴史民俗資料館

平成

2 年	1990	知立の山車文楽とからくりが国の重要無形民俗文化財に指定 新地公園完成
4 年	1992	草刈地下道開通
5 年	1993	第 4 次知立市総合計画策定 知立市福祉の里八ツ田開設
6 年	1994	長野県伊那市と友好都市締結
7 年	1995	知立市伊那市災害時相互応援に関する協定締結 野外センター（伊那市）完成
8 年	1996	逢妻橋開通

9 年	1997	人口 6 万人達成
10 年	1998	中町銀座地区市街地再開発ビル「リリオ」完成
12 年	2000	文化会館（パティオ池鯉鮒）開館 市役所リリオ出張所開所 オーストラリア ウィンダム市と姉妹都市提携 ミニバス運行開始
13 年	2001	生涯学習都市宣言
15 年	2003	第 5 次知立市総合計画策定 衣浦東部広域連合（消防局）発足
16 年	2004	衣浦豊田道路開通
17 年	2005	知立市まちづくり基本条例制定
18 年	2006	ボランティア・市民活動センター開設
19 年	2007	来迎寺保育園新築移転
20 年	2008	人口 7 万人達成
21 年	2009	学校給食センター新築移転
22 年	2010	いきがいセンター開設 知立市平和都市宣言
23 年	2011	定住自立圏形成協定締結 知立市環境美化推進条例制定
24 年	2012	オリジナルナンバープレート交付開始 もやいこハウス開設 知立市子ども条例制定
25 年	2013	知立南保育園新築移転 西三河災害時相互応援協定締結 災害時相互応援協定締結（鯖江市・魚津市・下呂市）
26 年	2014	災害時相互応援協定締結（能美市・栗東市） 西町配水場完成 知立市マスコットキャラクターちりゅっぴ決定
27 年	2015	第 6 次知立市総合計画策定 中央子育て支援センター開設
28 年	2016	知立の山車文楽とからくりを含む「山・鉾・屋台行事」が ユネスコ無形文化遺産登録
29 年	2017	多目的交流センター開設
30 年	2018	知立市文化芸術基本条例制定 観光交流センター開設 知立市手話言語条例制定
31 年	2019	ちりゅっぴポスト完成

令和

2 年	2020	西部地域包括支援センター開設 児童発達支援センター開設
3 年	2021	SDGs 未来都市に選定
4 年	2022	2050 年「ゼロカーボンシティ」を表明 知立市人権尊重のまち宣言
5 年	2023	知立市パートナーシップ・ファミリーシップ制度導入 野外センター（伊那市）廃止
6 年	2024	初の女性市長誕生
7 年	2025	第 7 次知立市総合計画策定



中町銀座地区市街地再開発ビル「リリオ」



文化会館（パティオ池鯉鮒）



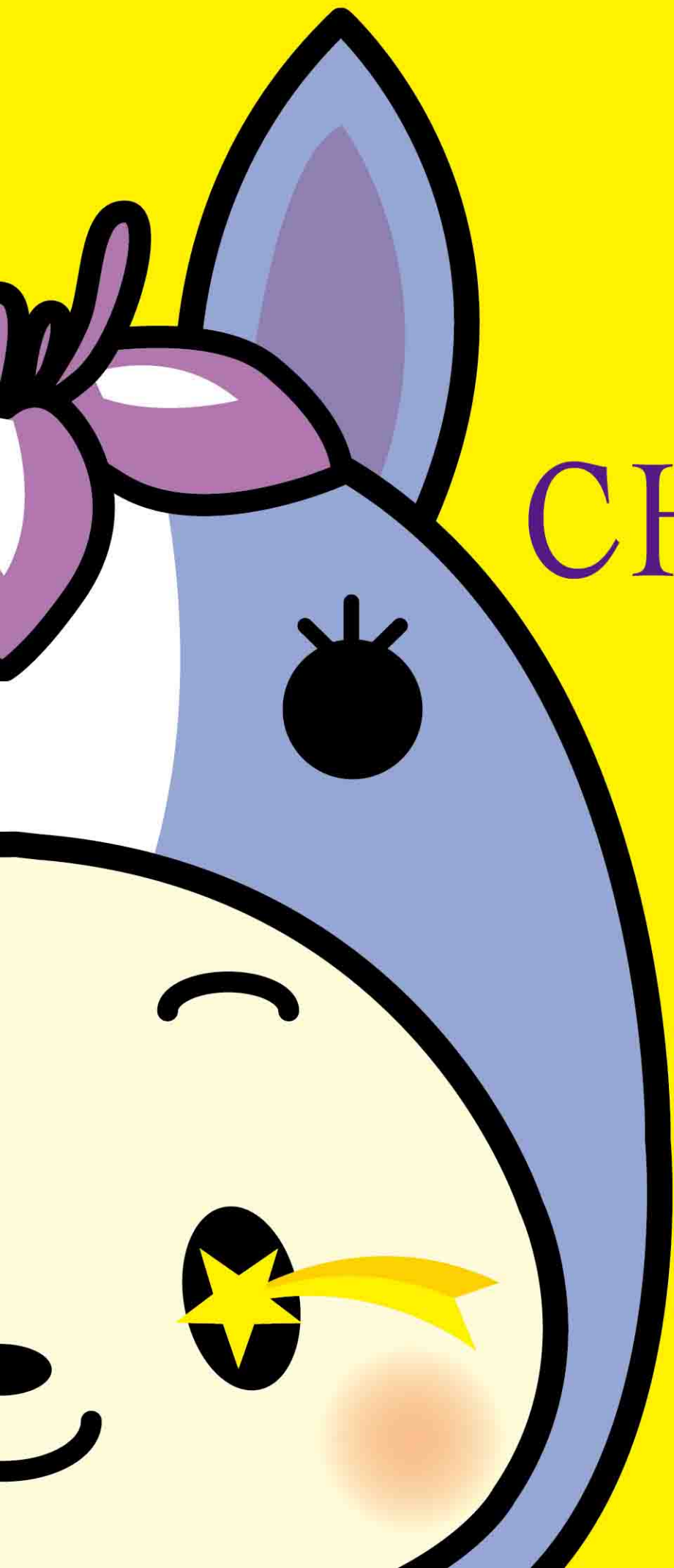
中央子育て支援センター



知立の山車文楽とからくり
ユネスコ無形文化遺産登録



初の女性市長誕生



CHIRYU

ち り ゅ う

Chiryu City 55th anniversary